

「科学技術におけるイノベーションの創出と人材育成 ～応用物理の目指す方向～」

1. 主 催： 日本学術会議 総合工学委員会 未来社会と応用物理分科会
2. 共 催： 応用物理学会、電子情報通信学会、日本物理学会
3. 日 時： 平成 21 年 11 月 19 日（木） 13:10～17:40
4. 場 所： 日本学術会議講堂（東京メトロ千代田線乃木坂駅下車 5 番出口より徒歩 1 分）
5. 開催趣旨：
人類の安心・安全な社会システムの実現と我が国の科学技術立国の堅持には、環境、エネルギー、食料などの学際的、融合的な領域におけるイノベーションの創出が求められる。このシンポジウムでは、応用物理学の視点から、各界のリーダーを迎えて我が国の科学・技術の進むべき方向とそれを担う人材育成についてご意見を伺う。また、参加者と共に応用物理分野の担う役割について考える機会を持つ。

6. プログラム：

（座 長） 財満 鎮明（名古屋大学教授、日本学術会議連携会員）

13：10 開会の辞：石原 宏（応用物理学会会長、東京工業大学教授、
日本学術会議第三部会員）

開会挨拶：金澤 一郎（日本学術会議会長）
後藤 俊夫（日本学術会議第三部副部長・第三部会員）
矢川 元基（日本学術会議総合工学委員会委員長・第三部会員）

13：25 講 演：松本 紘（京都大学総長、日本学術会議連携会員）
「イノベーション創出における大学の役割」

13：55 講 演：野間口 有（独立行政法人 産業技術総合研究所理事長）
「公的研究機関を核にしたイノベーション創出の取り組み」

14：25 講 演：岩瀬 公一（内閣府官房審議官（科学技術政策担当））
「わが国の科学技術戦略：政策立案の立場から」

14：55－15：10 休憩

(座 長) 吉野 淳二 (東京工業大学教授、日本学術会議連携会員)

15 : 10 講 演 : 荒川 泰彦 (東京大学教授、日本学術会議第三部会員)
「イノベーション創出に向けた産学連携研究開発
～ナノ量子融合研究を例にして」

15 : 40 講 演 : 北原 和夫 (国際基督教大学教授、日本学術会議連携会員)
「学術の智の視点から教育のグランドデザインを」

16 : 10-16 : 20 休憩

16 : 20 パネル討論 : 「イノベーションを支える人材育成」

司 会 : 奥村 次徳 (首都大学東京教授、日本学術会議連携会員)

パネラー : 小舘 香椎子 (日本女子大学名誉教授、日本学術会議
第三部会員)

榑 裕之 (豊田工業大学副学長、日本学術会議第三部会員)

渡辺 美代子 ((株)東芝 経営変革統括責任者、日本学術会議
連携会員)

菅原 充 (QD レーザ代表取締役)

真島 豊 (東京工業大学教授)

17 : 35 閉会挨拶 : 大野 英男 (東北大学教授、日本学術会議未来社会と応用物理分
科会幹事・連携会員)

7. 参加申し込みについて

参加費無料。定員300名

下記URLで事前登録をして下さい。

<http://www.nanoquine.iis.u-tokyo.ac.jp/scj/>

8. 問合せ先

吉野淳二 (東京工業大学) : jyoshino@phys.titech.ac.jp, 03-5734-2076

財満鎮明 (名古屋大学) : zaima@alice.xtal.nagoya-u.ac.jp, 052-789-2762

9. ポスター

本シンポジウムのポスターは下記のリンクからダウンロードできます。

<http://www.nanoquine.iis.u-tokyo.ac.jp/scj/scj-poster.pdf>